

『2020年東京オリンピック・パラリンピックあいち選手強化事業

次世代につなぐスポーツ人材育成事業（バドミントン競技） 報告書』

令和元年8月27日(火)・28日(水)の2日間、ドルフィンズアリーナ（愛知県体育館）にて「佐々木翔氏（男子シングルス ロンドンオリンピックベスト8、リオデジャネイロオリンピック出場）・北都銀行監督」を招聘し、県内から選ばれた小学生及び中学生を対象として、日本のトップ選手になるために必要な技術や考え方を学び、競技意欲をより一層の向上させることを目的とした技術講習会を実施しました。（参加者：小学生および中学生45名）

【講習概要と感想】

27日午後と28日午前・午後の時間帯で講習会を実施。1日目は、開講式後、日本トップになるための心構えや世界のバドミントンのトレンドなどについて説明がありました。その後、体操・ストレッチは、佐々木氏自らの模範実技により判りやすく解説を頂きました。次に基本のステップ練習では重心移動、シングルスの手投げノック形式のフットワークやパターン練習などをおこない、最後に「背骨」を2つの軸で動かすための体操をおこない終了しました。

2日目午前は、ダブルスをおこなうことを念頭においた練習を実施。半面でのパターン練習から全面でのパターン練習まで幅広くポイントを抑えながら指導頂きました。また、佐々木氏所属の永原・松本組（2019世界選手権 優勝）の話などもあり終始新鮮な感覚で練習をすることができました。やはりこの練習でも、佐々木氏が模範実技をおこなってくれるとすごいショットが繰り出され、いつも以上にイメージアップすることで練習効果があがると思いました。

2日目午後は、シングルスのパターン練習を中心におこないました。佐々木氏本人がシングルスの選手だけあって練習の着眼点などの細かさに驚きが多くありました。常に身体の使い方を混じえた指導でいつもと違った意識で練習に取り組めたのではないかと感じています。講習の最後には、身体の使い方のトレーニングをおこない終始自分の身体の動きを意識することが大切であると思わせるメニューで締めくくりました。

今回2日間という短い期間での指導ではありましたが、精神的にも身体的にも学びの多くある講習会であったと思われます。参加した生徒や指導者の方には学んだことや感じたことを自分自身の学校やクラブに持ち帰ってより一層愛知県のバドミントン普及や強化につとめてもらいたいと考えています。

